

～新しくなる 肱川橋とともに 大洲の町を再発見～

発行元
肱川橋橋梁架替工事連絡協議会



住所/大洲市阿蔵甲1844
電話番号/0893-23-4184



「八幡さん」と親しまれる 鎮守の杜「八幡神社」

新しい元号・令和の時代が幕を開けた今年も残りわずか。一年を振り返りつつ、新たな年に思いを馳せる。慌ただしい12月を走り抜けたら、年初めはゆっくりと、気持ち新たに初詣に出かけたいもの。今回たずねた八幡神社は、大洲市郊外、肱川沿いの阿蔵の杜に鎮座する神社。創建は聖武天皇の御代である天平年中（729～749年）と伝えられている。戦国時代、この地の社寺は荒廃し、八幡神社も一時的に衰えるが、文禄3年（1594）に大洲領主となった藤堂高虎公により神殿祭祀が復興。江戸時代に入り元和3年（1617）に加藤貞泰公が藩主となった後は、大洲領6万石の総鎮守として歴代藩主の崇敬を受け、大洲領内の人々の信仰を集めてきたという。元禄11年（1698）



に再建された社殿は大洲藩主、御家来衆、そして大洲領民がそれぞれ費用を出し合い造営されたといわれており、大洲の人々の力が結集して建てられたこのお社は、今もなお「八幡さん」として地域の人々に親しまれている。
大洲藩の歴代藩主から特別な崇敬を受けてきた八幡神社には、大洲藩にまつわる見どころも多い。社殿には歴代藩主が奉献した絵馬が残っており、中には谷文晁の最初の師として知られる加藤文麗（加藤泰都）作の絵馬も奉献されている。また、境内には大洲藩主加藤家の祖神を祀る三祖神社もあるので、社殿とあわせて参拝したい。



八幡神社は交通安全の神様や厄除開運、必勝、学問産業経済の神様、安産の神様として信仰されているご祭神が祀られており、厄除祈願・安産祈願・合格祈願などのご祈禱も事前予約にて受けることができます。正月三が日は予約無しで御祈禱が受けられる。
大洲の人々の安寧を願ってきた鎮守の杜の「八幡さん」へ。令和2年のスタートを清々しい気持ちで迎えたい。



イベント&トピックス

2019 豊茂イルミテヤまつり

豊茂の冬を彩るイルミネーション!!
みんなで楽しく クリスマス・ナイト
あったか〜いひとときを…

♪とき 2019年12月21日(土)
午後5時30分～

♪ところ 豊茂体育館(旧小学校体育館)

♪イベント
17:30 オープニング
17:35 ハンドベルの演奏
17:45 ライブ・コンサート
18:50 ビンゴゲーム大会

★あったか〜い飲み物・軽食
肉まん あんまん フライドポテト
コーヒー 甘酒 わたがし ほか

イルミネーションは12月8日から来年1月11日まで毎日
(17:00～22:00)点灯します 主催:豊友会

郷土料理旬

郷土の味をたずねて

おはなはん通りに行く
歴史情緒あふれるお食事処



大洲の郷土料理がセットで味わえる「ふるさと御膳(1,100円)」



美しい日本庭園を臨むお座敷で、ゆったりと非日常に浸る

藩政時代の面影を残す「おはなはん通り」沿いにあるお食事処。築100年以上の建築物を活用しており、街並みにしっくり馴染んでいる。四季折々の美しさに彩られた日本庭園を臨むお座敷で味わえるのは、大洲の郷土料理だ。人気の「ふるさと御膳」は、鯛の炊き込みご飯と、大洲特産の里芋や鶏肉、こんにゃくなどを煮込んだ「いもたぎ」という郷土料理2品がセットで味わえる。このほか、四季折々の旬の素材を使った月替わりの「旬彩弁当(1,100円)」や、定番の魚のさつま汁を牛肉でアレンジした「牛肉のさつま汁(1,320円)」を用意。
床の間や調度品の上などに折り鶴や紙風船などが飾られているが、これらは全てお客さんが箸袋の千代紙を折ったもの。記念に持ち帰る人もいるというが、この店ならではの微笑ましいエピソードだ。

住所/大洲市大洲652
電話番号/0893-23-4031
営業時間/11:30～14:00
(O.S.13:30)
定休日/木曜

肱川橋架替工事レポート ⑫



大洲市民の皆様を支えられ新しく生まれ変わる肱川橋です。
 大正2年の初代完成から100年以上、大洲市民の生活を支えてきた肱川橋。現在行われている5代目への架替えに関しては、地震時の耐震性の強化や、橋脚を5本から3本に減らすことで川の流れをスムーズにするという治水上の問題の解消など、様々な課題解決を目的としています。さらに、歩道を広げることで歩行者や自転車の方の通行もスムーズに。大洲市民のみなさんが安心して利用できる橋を目指して工事は進んでいます。



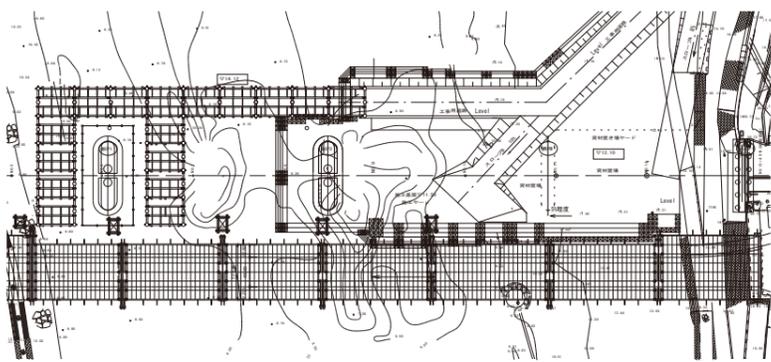
今回は、新肱川橋の橋脚を建設するために必要な架設橋の整備を担当されている中央建設株式会社の監理技術者・松本さんに、工事の進捗状況などお話を伺いました。

いよいよ、令和2年の春ごろには全ての橋脚が完成する予定です。徐々にその姿を見せ始めている新・肱川橋の誕生を今後も見守っていただけただら幸いです。ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



中央建設株式会社は、地元大洲を拠点として、総合建設業（土木工事業、建設工事業、産廃・一般廃棄物業（産業廃棄物収集運搬、中間処理・リサイクル・最終処分）、解体工事業、建設機械や産業廃棄物等の運送業を展開しています。このたび、肱川橋の橋脚を新たに建設するための架設橋整備を担当させていただきましたこととなり、令和元年9月上旬より工期に入りました。架設橋とは工事用道路のことで、建設機械の作業スペースや工事用車両の通行、資材を置くスペースなどを確保するためのものです。今回の工事では、新肱川橋に設置される3つの橋脚のうち、肱南側からの橋脚2基に関わる架設橋を施工します。

工事のスケジュールとしては、まず出水期の間は陸地での作業を進め、非出水期に入る10月中旬から肱川の中に架橋を建設していきます。非出水期とはいえ、できる限り川の流れを阻害することのないよう、川岸から慎重に整備を進めています。特に11月2日・3日に開催された「大洲まつり」の際は、うかい船が問題なく通れるよう架設橋の部分撤去も行いながら、市民の皆さんの妨げにならないよう努めてまいりました。お蔭様で、11月上旬の時点で工事は7割ほど進行しており、11月中には完了いたしました。



肱川橋架替仮橋設置工事 配置計画一般図



買い取り専門店 だめ金 大洲店

生前整理に遺品整理、断捨離も電話一本で出張買取OK！

令和元年5月にオープンした「買い取り専門店 だめ金 大洲店」。柿見時計店として培ってきたジュエリー・貴金属・時計などの買取をはじめ、骨董品や絵画、金券まで、様々なアイテムの買取に対応している。

「生きているうちに趣味の骨董品を整理しておきたい」「父の遺品を整理したいのだけど...」「引越しをするからこの機会に断捨離したい!」「店舗の片付けをしたい」などのニーズに応え、出張買取も行なっている。「片付けや不要なものを処分したいけれど人手が足りずお困りのときなど、ぜひお問い合わせください。ご自宅にお伺いして、一つひとつ査定の上、買取させていただきます」と社長。大洲市内はもちろん、内子や八幡浜、伊方などの周辺エリアまで、社長自ら訪問している。宝石や骨董品などの高価なものばかりでなく、ゴルフクラブやゲーム機などの趣味のアイテムなども対象となることがあるので、「捨てるしかないかな...」というものでも相談の価値あり!もちろん店舗への持ち込みOK、無料相談も受付中なので、気軽に店舗へ出かけてみては?



大洲、いいもの探訪

歴史の風薫る大洲市。その町には、代々受け継がれているお店や新しくできたお店など活気あるお店がたくさんあります。今回は、「買い取り専門店 だめ金 大洲店」と「花の日々（ハナノヒト）」を訪ねました。

花の日々 ハナノヒト

街角の商店をリノベーション ドライフラワーと雑貨のお店

平成30年12月、昭和の面影を感じる街角にオープンした「花の日々」。商店として使われていた築100年以上の建物を、ドライフラワーと雑貨を扱うお店にリノベーション。ゆがみガラス越しにぼんやりと見える店内に惹かれて扉を引けば、アンティークな雰囲気の間が広がる。花や緑木の実を使ったリースやブーケなど、お花屋さんに勤務していたオーナーがつくるドライフラワーは、日常にさらっと彩りを加えてくれるような、ナチュラルな美しさ。特に今の時期はしめ縄リースが好評で、大きさや形、デザインも様々なので、お気に入りのものをセレクトして新年を迎えたい。また、シンプルで使いやすいものをコンセプトに選んだ雑貨やアクセサリーも扱っており、大洲市を拠点に活動している「アトリエ星月夜」の大洲和紙を使用した水彩画やポストカード、「courcourir（クリールクリール）」のワイヤーアート作品など、ここでしか出逢えない作家手づくりの一点ものが並ぶ。「菓子工房ameiro」「ルドリュロラン378」の焼菓子も扱っているため、納品スケジュールなどの最新情報はInstagramでチェックを。



住所／大洲市柚木340-4
 電話番号／0893-37-4734
 営業時間／10:00～18:00
 定休日／水曜



住所／大洲市大洲146
 営業時間／11:00～18:00
 定休日／木・金曜